
はらいでえ

MCおもむろ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はらいでえ

【NZコード】

N4913A

【作者名】

M Cおもむろ

【あらすじ】

今お腹が痛い人は、これを見て諦めないでください。

俺は腹が痛い。す、ぐく。

なぜだ？

俺は学校への道を歩きながら原因を考えていた。

今日の朝の光景を思い出す。

それはいつもと変わらない朝だった。

いつも通りに起きて、いつも通りの制服に着替えて、いつも通り朝食を食べて。

朝食か……。

その中にこの腹痛の原因があるのかもしれない。

今日の朝食は、トーストにハムにヨーグルトと牛乳と言つ、一般的な朝食だった。

この中で一番原因っぽいのは、牛乳だ。

期限いつだつたつけ？

そうだ4月20日。

全然大丈夫だな……。

ん？ さてよ……？

俺はどこかの名探偵（名前忘れた）ぱりの推理力と記憶力を駆使して、すべての碎けたピースを一つの出来事にリンクさせてみようかなーーなんて、思っちゃつたりして？ テヘッ

やべえやべえやべえやべえやべえやべえやべえ……。
ふう……危うくすべてを諦めてしまいそうになつたぜ。

くつーもうあまり時間が残されていないようだ。

次のビックウェーブがくる前に学校に辿り着かないと、俺のBIG・便がプリティヒップからメーーーーしてお母さん「めんなさい」と言ひ気持ちになってしまい。

学校まであと、歩いて7分程度か。

これは時間との勝負だな…

そしてこれほどまでに俺を苦しめるこの腹痛の原因はなんだ？

俺のどこかの名探偵（思い出せない）ぱりの推理力と記憶力を持つてしても、答えは出なかった。
しかし、この痛みは普通じゃない。

母が期限切れの物を勘違いして俺に食べさせた？
ありえる。うちの母なら。

俺は携帯を取り出し、母に電話してみた。

そしてすべての答えがここにあった。

昨日 。。

「あらーーー牛乳を冷蔵庫に入れないでほつたらかしにじといたら、ヨーグルトができたわーつふ。私って料理のて・ん・さ・いー！」

今朝 。

「あれ？ヨーグルトなんてあつたつけ。」

「あ、やのピーグルト・アレ、お母さんが作ったのよ。」

「へえー、手作りか。」

「とつともおにじい（と細う）わよーせひ、食べてみなせこー。」

お母さん、それは、ダメ。いけなことだよ？

よし、BHG・便を漏らしきりたら、お母さん、「めんなさい」じゃなくて、お母さんを、一生許しませんじよ。うよ、決まりだな。

決意を新たにした所で、ようやく学校が見えてきた。ああ、やっとこの苦痛から逃れられる……と少し気を緩めてしまった事で、爆発のコリットが短くなつた。

く……つ……！

大丈夫、まだいける。

俺は心の中でうーん、やばーね うーん、やばーね と、連呼して氣を紛らわせ続けた。

やじて、ようやく学校に入り、下駄箱まで来ていた。

「うーん、やっぱーね うーん あう……、やっぱー……ね

」

あと少し……あと少し……。

靴を履きかえて、パラダイス（トイレ）まで少し歩くだけだ…。慎重に…慎重に…

その時、後ろから声がした。

「おーい！鈴木！学校来んのおせえぞーなーにめったなんだよつ

シン

「…………あつ…………」

その後の事は、さくくな。
きかないでください…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4913a/>

はらいでえ

2010年11月29日07時39分発行